

技術提案書項目評価表

項番	大項目	中項目	小項目	技術提案書 (指定様式等)	記載依頼事項	評価方法	配点	必須 項目	採点基準		
1	I 全体概要 ※合計：230点	1 提案するパッケージシステムに類似・関連する案件の実績	①	提案するパッケージシステムに類似・関連する案件の実績	技術提案書 様式第9号_提案するパッケージシステムに類似・関連する案件の実績一覧	・本市指定様式「様式第9号_提案するパッケージシステムに類似・関連する案件の実績一覧」に従い、平成28年以降における政令指定都市・中核市での、介護保険関連システムの構築・再構築等の実績（契約名、発注者、契約期間等）及びその対象業務の範囲を記載すること。また、対象の政令指定都市・中核市において認定事務センターへの委託を行っていた場合はその旨を記載すること。 ・本市指定様式「様式第9号_提案するパッケージシステムに類似・関連する案件の実績一覧」に従い、平成28年以降における政令指定都市での、国民健康保険関連システムの構築・再構築等の実績（契約名、発注者、契約期間等）及びその対象業務の範囲を記載すること。	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	20	○	・「神戸市介護保険関連システム再構築業務委託仕様書」の内容を理解しているか。また、政令指定都市・中核市において履行した関連実績がどの程度あるか。 ・「神戸市介護保険関連システム再構築業務委託仕様書」に類似した仕様の実績があるか。 ・神戸市相当規模以上かつ認定事務センターを含めて運用を行っている政令市での介護保険関連システムの構築・運用保守実績があるか。 ・提案するパッケージシステムが、標準化前・後含めて政令市における導入実績が記載されており、複数政令市実績を有しているか。	
			②	適合確認試験	技術提案書	・提案するパッケージシステムが、デジタル庁が実施する適合確認試験において自治体区分「指定都市」で合格している場合は記載すること。	2段階評価 A 配点の100% F 配点の0%	15		・提案するパッケージシステムが、デジタル庁が実施する適合確認試験において自治体区分「指定都市」ですでに合格済であるか。	
3	2 基本的な考え方		①	システム開発体制	技術提案書 様式第7号_業務従事メンバー状況表（体制図） 様式第8号_業務従事メンバー状況表（役割）	・本市指定様式「様式第7号_業務従事メンバー状況表（体制図）」に従い、標準準拠システムへの確実な移行を前提としたシステム開発体制（活動チームごとの構成、メンバーの配置状況を図示すること。）及びメンバーの役割を明示すること。また、その考え方や根拠等も記述すること。 ・本市指定様式「様式第8号_業務従事メンバー状況表（役割）」に従い、上記体制図に記載したメンバーの経歴（資格、経歴・実績、経験年数等）及び「専任／兼任」を記述すること。 ・国・民間等でAWSを使用したシステムの構築に参加したメンバーがいる場合は、その業務内容等を「様式第8号_業務従事メンバー状況表（役割）」に追記すること。	4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	・本システムのプロジェクト体制として、不十分な体制となっていないか。 ・業務責任者やチームリーダー・品質管理などのプロジェクト管理業務を行うメンバーが、本市の基幹システム（介護、税、国保、福祉、共通基盤など）の構築、運用保守を行った経験があるか。	
6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%							15			○	・介護保険関連パッケージを用いたシステム構築のプロジェクト管理経験があるメンバーが参画しているか。（類似した国民健康保険パッケージを用いたシステム構築のプロジェクト管理経験も含む。）
6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%							15			○	・政令指定都市における介護保険関連パッケージを用いたシステム構築経験のあるメンバーが複数参画しているか。
6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%							15			○	・AWSを用いたシステム構築経験のあるメンバーが参画しているか。 ・本市の基幹システム（介護、税、国保、福祉、共通基盤など）の構築、運用保守をAWS上で行った経験のあるメンバーが複数参画しているか。
4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%							15			○	・「神戸市介護保険関連システム再構築業務委託仕様書」の内容を踏まえて、実現性のあるスケジュールであるか。また、クリティカルパスやマイルストーンなど進捗管理のうえで重要となるポイントや時期が記載されているか。 ・本市の区窓口や介護認定にかかる運用が大きく変更されることを想定されたスケジュールとなっているか。 ・本事業の対象外である端末調達等、本事業以外の要素についても考慮したスケジュール提案となっているか。
4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%											15
7			②	スケジュール	技術提案書	・標準準拠システムへの確実な移行を前提にした本プロジェクト全体のスケジュールについて、現時点で記述可能なレベルで具体的な作業項目単位でのスケジュール案を記述すること。 ・クリティカルパスやマイルストーンなど進捗管理の上で重要となるポイントや時期について記述すること。 ・契約締結後の2か月程度について、本市との協議日程や協議テーマを一覧で記述すること。	4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	・「神戸市介護保険関連システム再構築業務委託仕様書」の内容を踏まえて、実現性のあるスケジュールであるか。また、クリティカルパスやマイルストーンなど進捗管理のうえで重要となるポイントや時期が記載されているか。 ・本市の区窓口や介護認定にかかる運用が大きく変更されることを想定されたスケジュールとなっているか。 ・本事業の対象外である端末調達等、本事業以外の要素についても考慮したスケジュール提案となっているか。	
8					・本市の繁忙期を考慮したスケジュールとなっていること。 ・各作業工程における取り組みが具体的に示されており、納入成果が定義されていること。	4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%	15				○

項番	大項目	中項目	小項目	技術提案書 (指定様式等)	記載依頼事項	評価方法	配点	必須 項目	採点基準		
9			③ 介護保険関連システムの基本的な考え方	技術提案書	<p>・標準準拠システムへの確実な移行を前提にした介護保険関連システムであることを踏まえ、提案するシステムの概要、特徴、適用範囲を記述すること。</p> <p>・システム全体像をイメージ図・アプリケーション構成図等を用いて記載し、システムにおける開発内容や構築範囲を明確にすること。</p> <p>・事務補助システムで実装する機能の具体的な実装方法を記載すること。</p> <p>・令和11年度の本稼働後に関して、標準仕様書の改定（法制度改正含む。）における貴社の基本的な考え方や対応に要する費用等について記述すること。</p>	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	<p>・標準準拠システムへの確実な移行を前提にした介護保険関連システム及び事務補助システムであることを踏まえ、提案するシステムの概要、特徴、適用範囲が記載されているか。</p> <p>・システムの全体像をイメージ図、アプリケーション構成図等を用いて記載し、システムにおける開発内容や構築範囲が明確に記載されているか。</p>		
10						6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	<p>・事務補助システムで実装する機能の具体的な実装方法が記載されているか。</p>		
11						6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	<p>・令和11年度の本稼働後に関して、標準仕様書の改定（法制度改正含む。）における基本的な考え方や対応に要する費用等が妥当か。</p> <p>・事務補助システムの稼働後のサポート体制、本稼働以降の機能拡張及び保守対応に関する基本的な考え方や対応に要する費用等が妥当か。</p>		
12						4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	<p>・想定される課題、問題点がある場合、提案システムでの解決方法などが適切に記載されているか。</p>		
13			④ 対応経費の抑制	技術提案書	<p>・経費抑制の観点から、本業務における貴社の工夫を記載すること。特に事務補助システムの機能を実装するにあたり、経費抑制を図る施策について具体的な施策を記載すること。</p> <p>（工夫をすることにより介護保険関連システム以外の費用や職員負担が増加する場合、その内容についても記載すること。）</p>	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	<p>・経費抑制の観点から、本業務における工夫点が記載されているか。</p> <p>・事務補助システムの機能実装に関する経費抑制施策が具体的に記載されているか。</p> <p>・工夫により介護保険関連システム以外への影響はないか（介護保険関連システム以外の費用・職員作業負担）。</p>		
14			⑤ システム構成単位	技術提案書	<p>・介護保険関連システムのリソース要件（コンピューティング、ストレージ、データ転送）について現時点での想定を記述すること。</p> <p>・介護保険関連システムについて、ガバメントクラウド運用管理補助事業者との役割分担を記載すること。</p> <p>・介護保険関連システムの保守対応等において、ガバメントクラウドへどのように通信する想定が記載すること。</p>	4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%	10	○	<p>・介護保険関連システムのリソース要件（コンピューティング、ストレージ、データ転送）が適切なものとなっているか。</p>		
15						システム構成図	4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%	10	○	<p>・介護保険関連システムについて、ガバメントクラウド運用管理補助事業者との役割分担が適切なものとなっているか。</p>	
16						ソフトウェア構成一覧表	3段階評価 A 配点の100% E 配点の10% F 配点の0%	10	○	<p>・介護保険関連システムの保守対応等においてのガバメントクラウドへの通信想定が記載されていること。</p>	
17						業務システムサーバ構成一覧表					
17			II 機能要件 ※合計：70点	1 機能要件	① 業務機能要件	技術提案書 機能要件一覧	<p>・本市指定様式「機能要件一覧」の「凡例シート」に従い、各要件への対応方針を記入欄の該当箇所に記述すること。</p> <p>・「機能要件一覧」に回答した必須機能、必須機能以外別の対応方針○・△・×の数等が分かるようまとめ、記載すること。</p>	全ての機能項目を「A.全てを提案するパッケージシステム又は外付けシステム等」で対応した場合は合計点を基にして計算	5	○	<p>・「機能要件一覧」で実装必須としているオプション機能・独自機能については、機能項目単位で次の基準で評価・採点する。</p> <p>「A.全てを提案するパッケージシステムで対応」は「5点」とする。 「B.全てを提案するパッケージシステム又は外付けシステム等で対応」は「3点」とする。 「C.全て又は一部を代替方法で対応（職員による手作業や運用対応に頼る部分がある）」は「1点」とする。 「D.一部でも対応できない要件が含まれる」は「0点」とする。 評価点の計算は、上記の採点結果に基づき、次の式で行う。なお、端数は、小数点以下1桁目で四捨五入する。 評価点 = 5 × (機能項目単位の採点結果の合計 / 満点 (全ての機能項目を「A.全てを提案するパッケージシステムで対応」とした場合の合計点))</p>

項番	大項目	中項目	小項目	技術提案書 (指定様式等)	記載依頼事項	評価方法	配点	必須 項目	採点基準
18						全ての機能項目を「A.全てを提案するパッケージシステムで対応」とした場合の合計点を基にして計算	5		・「機能要件一覧」で実装希望としているオプション機能については、機能項目単位で次の基準で評価・採点する。 「A.全てを提案するパッケージシステムで対応」は「5点」とする。 「C.全て又は一部を代替方法で対応（職員による手作業や運用対応に頼る部分がある）」は「1点」とする。 「D.一部でも対応できない要件が含まれる」は「0点」とする。 評価点の計算は、上記の採点結果に基づき、次の式で行う。なお、端数は、小数点以下1桁目で四捨五入する。 評価点 = 5 × (機能項目単位の採点結果の合計 / 満点 (全ての機能項目を「A.全てを提案するパッケージシステムで対応」とした場合の合計点))
19			② 業務帳票要件	技術提案書 帳票要件一覧	・本市指定様式「帳票要件一覧」の「凡例」シートに従い、各帳票への対応方針を記入欄の該当箇所に記載すること。 ・「帳票要件一覧」に回答した対応方針◎・○・△・×の数等が分かるようまとめ、記載すること。	全ての帳票を「A.提案するパッケージシステムで対応」とした場合の合計点を基にして計算	5	○	・帳票については帳票単位で次の基準で評価・採点する。 「A.提案するパッケージシステムで対応」は「5点」とする。 「B.外付けシステム等で対応」は「4点」とする。 「C.全て又は一部を代替方法で対応（職員による手作業や運用対応に頼る部分がある）」は「3点」とする。 「D.一部でも対応できない要件が含まれる」は「0点」とする。 評価点の計算は、上記の採点結果に基づき、次の式で行う。なお、端数は、小数点以下1桁目で四捨五入する。 評価点 = 5 × (機能項目単位の採点結果の合計 / 満点 (全ての帳票項目を「A.全てを提案するパッケージシステムで対応」とした場合の合計点))
20			③ 使用性・操作性要件	技術提案書	・使用性・操作性要件に対して、提案するシステムでの実現方法を記述すること。	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	5	○	・使用性・操作性要件についての実現方法が要素・要件ごとに記載されており、その内容が適切なものとなっているか。
21			④ 操作権限管理・バッチ処理	技術提案書	・操作権限管理・バッチ処理の各要件への対応方針を記入欄の該当箇所に記述すること。	4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%	5	○	・操作権限管理・バッチ処理の各要件への対応方針の内容が要件を満たしているか。
22		2 他システム連携	① 他システム連携	技術提案書 連携要件一覧	・本市指定様式「連携要件一覧」の「凡例シート」に従い、各要件への対応方針を記入欄の該当箇所に記述すること。 ・「連携要件一覧」に回答した必須項目、必須項目以外別の対応方針◎・○・△・×の数等が分かるようまとめ、記載すること。	全ての連携を「A.全てを提案するパッケージシステムで対応」とした場合の合計点を基にして計算	5	○	・「連携要件一覧」で実装必須としているオプション連携・独自連携については、項目単位で次の基準で評価・採点する。 「A.全てを提案するパッケージシステムで対応」は「5点」とする。 「B.全てを提案するパッケージシステム又は外付けシステム等で対応」は「3点」とする。 「C.全て又は一部を代替方法で対応（職員による手作業や運用対応に頼る部分がある）」は「1点」とする。 「D.一部でも対応できない要件が含まれる」は「0点」とする。 評価点の計算は、上記の採点結果に基づき、次の式で行う。なお、端数は、小数点以下1桁目で四捨五入する。 評価点 = 5 × (連携項目単位の採点結果の合計 / 満点 (全ての連携項目を「A.全てを提案するパッケージシステムで対応」とした場合の合計点))
23						全ての連携を「A.全てを提案するパッケージシステムで対応」とした場合の合計点を基にして計算	5		・「連携要件一覧」で実装希望としているオプション連携については、項目単位で次の基準で評価・採点する。 「A.全てを提案するパッケージシステムで対応」は「5点」とする。「C.全て又は一部を代替方法で対応（職員による手作業や運用対応に頼る部分がある）」は「1点」とする。 「D.一部でも対応できない要件が含まれる」は「0点」とする。 評価点の計算は、上記の採点結果に基づき、次の式で行う。なお、端数は、小数点以下1桁目で四捨五入する。 評価点 = 5 × (連携項目単位の採点結果の合計 / 満点 (全ての連携項目を「A.全てを提案するパッケージシステムで対応」とした場合の合計点))

項番	大項目	中項目	小項目	技術提案書 (指定様式等)	記載依頼事項	評価方法	配点	必須 項目	採点基準			
24		3 非機能要件	① 非機能要件	技術提案書 非機能要件一覧	・「非機能要件一覧」への対応の可否、要求レベルを下げる必要がある場合、その合理的な理由や代替方法を記載すること。 (ベンダ提案事項となっている項目については、要求レベルとそのレベルを選択する合理的な理由を記載すること。) ・非機能要件の前提条件、ネットワーク構成、可用性、運用・保守性、性能・拡張性に関する対応について基本的な考え方を記述すること。	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	5	○	・「非機能要件一覧」に対応の可否、要求レベルを下げる必要がある場合、その合理的な理由や代替方法等の記載が適切な内容になっているか。 (ベンダ提案事項となっている項目については、要求レベルとそのレベル、選択する合理的な理由を記載すること。)			
25						4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%	5	○	・非機能要件の前提条件、ネットワーク構成、可用性、運用・保守性、性能・拡張性に関する対応について、基本的な考え方が適切に記載されていること。			
26						② セキュリティ要件	技術提案書	・セキュリティ要件に関する貴社の基本的な考え方、方針を記述すること。 ・「神戸市介護保険関連システム再構築業務委託仕様書」の「5.5 セキュリティ要件」に挙げたセキュリティ対策及び個人情報の保護、ログの取得の要件について、実現方法を具体的に記述すること。 ・それ以外で本システム再構築に際し、実装するのが望ましいセキュリティ機能については積極的な提案を求める。	4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%	5	○	・セキュリティ要件に関する基本的な考え方、方針が「神戸市介護保険関連システム再構築業務委託仕様書」の内容を踏まえた記載となっているか。 ・「神戸市介護保険関連システム再構築業務委託仕様書」の内容も踏まえた事業者独自のセキュリティ対策（本市にとって有益な対策）が記載されているか。
27									6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	5	○	・「神戸市介護保険関連システム再構築業務委託仕様書」の「5.5 セキュリティ要件」に挙げたセキュリティ対策及び個人情報の保護、ログ取得要件についての実現方法が適切に具体的に記載されているか。
28		6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	5	○	・本システム再構築に際し、実装するのが望ましいセキュリティ機能について追加提案があり、その提案が有用なものとなっているか。							
29		4 機能要件・連携要件	① 標準仕様書の対応版数	技術提案書 機能要件一覧 連携要件一覧	・調達時点で想定する稼働時の標準仕様書（介護保険）の版数を記載すること。 ・介護保険システムの標準仕様書第5.0版に対応可能な場合は、本市指定様式「機能要件一覧」の「第5.0版シート」、「連携要件一覧」の「第7.0版シート」において、各要件への対応方針を記入欄の該当箇所に記述すること。 ・介護保険システムの標準仕様書第6.0版に対応可能な場合は、本市指定様式「機能要件一覧」の「第6.0版シート」、「連携要件一覧」の「第8.1版シート」において、各要件への対応方針を記入欄の該当箇所に記述すること。 ・稼働までの間に改版が発生した場合の対応想定を記載すること。				4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%	10		「神戸市介護保険関連システム再構築業務委託仕様書」及び「標準化移行計画書」で求める版数（全体バージョン第8.0版（介護保険システムの標準仕様書第4.1版））より新しい版数にて構築が可能か。
30		III プロジェクト管理 ※合計：145点	1 業務委託要件	① 開発方針	技術提案書	・プロジェクト管理運営に関する貴社の考え方を記載すること。 ・採用する開発方法や開発ツールを明示し、採用理由を記載すること。	4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	・プロジェクト管理運営に関する考え方が記載されており、その内容が「神戸市介護保険関連システム再構築業務委託仕様書」を踏まえたものになっているか。		
31							4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	・採用する開発方法や開発ツールについて記載があり、その採用理由を含め内容が妥当なものとなっているか。		

項番	大項目	中項目	小項目	技術提案書 (指定様式等)	記載依頼事項	評価方法	配点	必須 項目	採点基準
32	IV システム構築に係る要件 ※合計：145点	1 開発要件	② 開発工程	技術提案書	<ul style="list-style-type: none"> ・システム開発工程を定義し、各工程の考え方や工程別の作業項目、成果物を記載すること。また、運用設計工程、移行設計工程についても明確にすること。なお、本市の想定する工程及び各工程の成果物が異なる場合には、対比して説明すること。 ・開発における、貴社と本市の役割分担を工程別に記述すること。 ・貴社が想定している開発工程ごとの作業場所に関して、設置場所・想定人員等を記載すること。 	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	20	○	<ul style="list-style-type: none"> ・システム開発工程を定義し、各工程について考え方や、工程別の作業項目、成果物が記載されており、それらが無理のない妥当な内容となっているか。また、運用設計工程、移行設計工程について明確になっているか。 ・本事業における本市方針を正しく理解した上で、現行システム機能・運用を踏まえた適切な要件定義・設計提案となっているか。
33						3段階評価 A 配点の100% E 配点の10% F 配点の0%	20	○	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担における本市の分担が、本市の想定よりも不十分又は過大なものになっていないか。
34						3段階評価 A 配点の100% E 配点の10% F 配点の0%	20	○	<ul style="list-style-type: none"> ・開発工程ごとの作業場所の想定が、不適切なものになっていないか。 ・開発工程ごとの対応可能な人員計画がなされているか。
35			③ 進捗管理及び品質管理	技術提案書	<ul style="list-style-type: none"> ・定義した各工程における進捗管理の考え方、定量的な管理方法等を記載すること。 ・定義した各工程における終了基準の考え方、具体的な終了基準を記載すること。 ・品質管理に関して、貴社の考え方、実施方法、定量的な評価方法、具体的な目標等を記載すること。 ・作業遅延やテスト段階での大幅な手戻りなど、工程管理上の遅延が発生した場合の考え方について具体的に記述すること。 	4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%	25	○	<ul style="list-style-type: none"> ・定義した各工程における進捗管理の考え方、定量的な管理方法等が具体的に記載されており、妥当なものとなっているか。 ・定義した各工程における終了基準の考え方、具体的な終了基準が記載されており、妥当なものとなっているか。 ・連携先システム（税、国保、共通基盤など）との役割分担および連携協議の進め方が適切に提案されているか。
36						3段階評価 A 配点の100% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	<ul style="list-style-type: none"> ・品質管理に関して、貴社の考え方、実施方法、定量的な評価方法、目標等が具体的に記載されており、妥当なものとなっているか。 ・品質向上に向けた具体的な施策内容が記載されており、有効な内容となっているか。
37						3段階評価 A 配点の100% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	<ul style="list-style-type: none"> ・作業遅延やテスト段階での大幅な手戻りなど、工程管理上の遅延が発生した場合の考え方が具体的に記載されており、妥当なものとなっているか。
38			2 テスト要件	① 開発要件	技術提案書	<ul style="list-style-type: none"> ・「神戸市介護保険関連システム再構築業務委託仕様書」の「6.2.1 システム環境」に対応したシステム環境の実現方法を記載すること。 ・標準準拠システムにおける共通機能への対応、文字要件に係る対応、標準準拠システムの適合確認についての対応方針、これらの対応における貴社と本市の役割分担を記載すること。 	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	10	○
39	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	10					○	<ul style="list-style-type: none"> ・標準準拠システムにおける共通機能への対応、文字要件に係る対応、標準準拠システムの適合確認についての対応方針、これらの対応における貴社と本市の役割分担が具体的に記載されており、妥当なものとなっているか。 ・標準準拠システムにおける共通機能への対応、文字要件に係る対応について、連携先システムとの作業範囲の切り分けを正しく理解しているか。またそれを踏まえて役割分担などが適切に提案されているか。 	
40	① テスト要件	技術提案書	<ul style="list-style-type: none"> ・現行システムと提案するシステムの一致テストの計画策定において、職員の作業負荷軽減するための方法や貴社との役割分担を具体的に示すこと。 ・結合／総合テスト、及び受入（運用）テストにおいて、職員の作業負荷軽減するための方法や貴社との役割分担を具体的に示すこと。 	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	<ul style="list-style-type: none"> ・現行システムと提案するシステムの一致テストの計画策定において、本市職員との役割分担が具体的に示されており、記載された方法が職員の作業負荷を軽減するものとなっているか。 		
41				6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	<ul style="list-style-type: none"> ・結合／総合テスト及び受入（運用）テストにおいて、本市職員との役割分担が具体的に示されており、記載された方法が職員の作業負荷を軽減するものとなっているか。 ・テスト計画策定において、現行業務・現行システム運用への負荷を最小限とするような提案がされているか。 		

項番	大項目	中項目	小項目	技術提案書 (指定様式等)	記載依頼事項	評価方法	配点	必須 項目	採点基準
42	V 運用保守業務委託 ※合計：50点	3 移行要件	① データ移行全般	技術提案書	<ul style="list-style-type: none"> ・本システム再構築に係るデータ調査、初期データ移行、本番移行（業務移行・システム移行・データ移行）の進め方及び課題とその解決策を記述すること。特に、本市職員の作業負荷軽減について具体的に記述すること。 ・「神戸市介護保険関連システム再構築業務委託仕様書」の「6.4.2 データ移行」に記載した内容と異なる提案を行う場合には、その理由等について詳細に記述すること。 ・貴社と本市の役割分担を記述すること。 ・データ移行に関する制約事項があれば、その内容及び理由を記述すること。 	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	・本番用データ移行について具体的な手法（時期なども含む。）及び課題とその解決策が提示されており、その内容が適切なものになっているか。
43						6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	・本番用データ移行における本市職員の負担が適切なものになっているか。 ・現行データの特徴を正しく理解した上で、現行システム事業者との作業範囲の切り分けが適切に提案されているか。
44			② 不備データに対する補正 対応等	技術提案書	<ul style="list-style-type: none"> ・現行システムでの不備データに対する補正対応等について考え方を記述すること。特に、本市職員の作業負荷軽減について具体的に記述すること。 ・貴社と現行システム事業者・本市の役割分担を記載すること。 ・データ移行に関する制約事項があれば、その内容および理由を記載すること。 	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	・不備データの補正について具体的な手法（時期なども含む。）及び課題とその解決策が提示されており、その内容が適切なものになっているか。
45						6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	15	○	・役割分担の提案が具体的に適切なものになっているか。
46			4 研修要件	① 研修	技術提案書	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務委託における研修に関して、貴社の考え方、具体的な実施内容、貴社と本市の役割分担を記載すること。また、想定する研修スケジュールも記載すること。 ・現行業務との差異を意識した研修内容の提案を記載すること。 	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	15	○
47	5 その他支援要件	① マニュアル作成	技術提案書	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務におけるマニュアル作成に関して、マニュアルの種類ごとに貴社の考え方、具体的な内容を記載すること。 ・特に職員が使用する操作マニュアルについては、現行業務との差異を意識したマニュアル作成の提案を記載すること。 	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	10	○	・各種マニュアル作成における貴社の考え方及び想定内容が適切で具体的に記載されているか。	
48					② 特定個人情報保護評価 (PIA)の支援	技術提案書	<ul style="list-style-type: none"> ・特定個人情報保護評価（PIA）の支援に関して、貴社の考え方、具体的な対応内容、貴社と本市の役割分担を記載すること。 	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	10
49	1 業務の概要	① 基本的な考え方	技術提案書	<ul style="list-style-type: none"> ・「神戸市介護保険関連システム運用保守業務委託仕様書」の内容を踏まえ、運用保守に関する貴社の考え方を記載すること。 ・「神戸市介護保険関連システム運用保守業務委託仕様書」と異なる運用内容を想定している場合は、異なる点、その提案理由を具体的に記載すること。 	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	10	○	・「神戸市介護保険関連システム運用保守業務委託仕様書」に記載している主旨を踏まえ、運用保守における貴社の考え方が適切かつ具体的に記載されているか。	

項番	大項目	中項目	小項目	技術提案書 (指定様式等)	記載依頼事項	評価方法	配点	必須 項目	採点基準
50			② システム運用体制	技術提案書	・「神戸市介護保険関連システム運用保守業務委託仕様書」の内容を踏まえ、現時点で想定される運用保守の体制（人数・チーム体制・ローテーション等）について記載すること。	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	10	○	・想定される運用保守の体制が具体的に記載され、「神戸市介護保険関連システム運用保守業務委託仕様書」の内容を踏まえた適切な体制となっているか。 ・行政の基幹システム（介護、税、国保、福祉、共通基盤など）の運用保守を行った経験のあるメンバーが複数参画予定か。
51			③ 対応経費の抑制（運用保守費）とサービス水準の維持	技術提案書	・「神戸市介護保険関連システム運用保守業務委託仕様書」の内容を踏まえ、サービス水準を保ちながらコストを削減する手法を提案すること。	4段階評価 A 配点の100% C 配点の60% E 配点の10% F 配点の0%	10	○	・提案するコスト削減手法が実現可能な内容になっているか。 ・提案するコスト削減手法を用いることにより、サービス水準が低下することがないか。
52			④ 提案するシステム稼働開始日から令和16年度までの運用保守費用	技術提案書	・「神戸市介護保険関連システム運用保守業務委託仕様書」の内容を踏まえ、システム稼働開始日から令和17年3月31日までの運用保守費用について、年度ごとの想定額・運用工数・保守工数等を記載すること。なお、初年度については運用保守開始日を明記すること。 （保守工数を削減する場合や提案するシステム稼働開始日から令和13年1月3日までの運用保守費用を63ヶ月分の運用保守費用に換算した際より、費用が増加する場合は、その理由もあわせて記載すること。）	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	10		・提案するシステム稼働開始日から令和13年1月3日までの運用保守費用を63ヶ月分に換算した額と運用保守費用総額を比べ、どの程度費用が削減されているか。 ・保守工数の削減は行われているが、合理的な理由が記載されていない場合は、1段階評価を下げるものとする（ただし、0とはしない。）。 ・「神戸市介護保険関連システム運用保守業務委託仕様書」に含まれる運用保守費用を63ヶ月分の運用保守費用に換算した際より、費用が増加するものの、増加理由が妥当と考えられるものは1段階評価を上げるものとする。
53			⑤ 対応経費の抑制（ガバメントクラウド利用料）	技術提案書	・「非機能要件一覧」および「神戸市介護保険関連システム運用保守業務委託仕様書」の内容を踏まえ、システム稼働開始日から1年間のガバメントクラウド利用料の想定額を記載すること。 ・「非機能要件一覧」および「神戸市介護保険関連システム運用保守業務委託仕様書」の内容に関して、コスト削減を目的とした見直し案を提案し、見直し後のガバメントクラウド利用料の想定額も記載すること。 ・なお、コスト削減の取組みによるリスクが想定される場合、リスクを明記のうえ対応策を記載すること。	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	10		・提案する見直し案はコスト削減が期待できるか。 ・コスト削減の取組みに伴うリスクやリスクに対する具体的な対応策が記載されているか。
54	VI 追加提案 ※合計：20点	1 追加提案の内容	① 仕様書に定める事項以外への提案	技術提案書	・「神戸市介護保険関連システム再構築業務委託仕様書」及び「神戸市介護保険関連システム運用保守業務委託仕様書」に記載以外の追加提案がある場合は記載すること。（複数可）	6段階評価 A 配点の100% B 配点の80% C 配点の60% D 配点の30% E 配点の10% F 配点の0%	20		・本業務の実施にあたっての追加提案事項が具体的に示されており、本市にとって有用な提案内容となっているか。（複数可）
総合計							660		